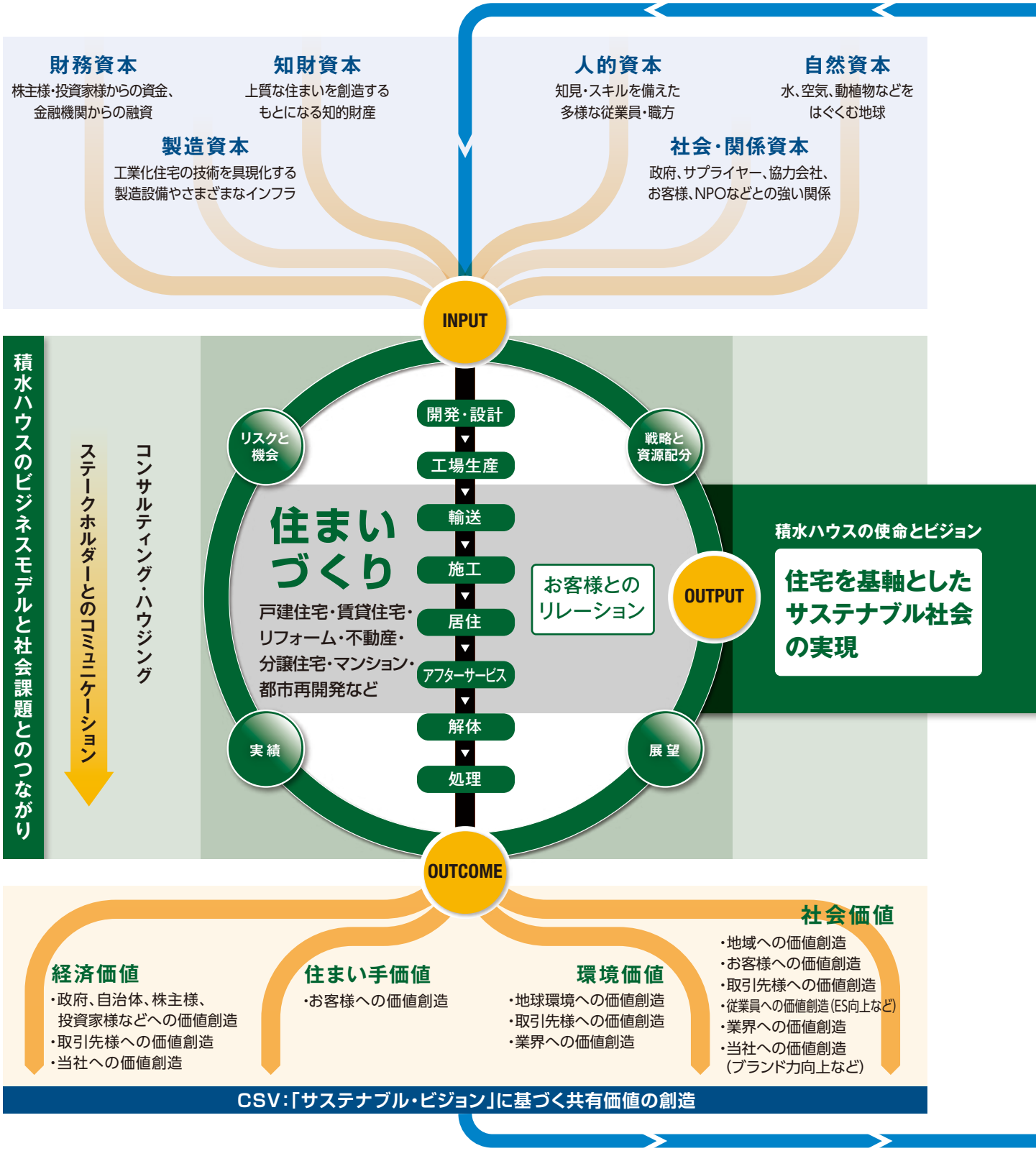
積水ハウスグループのCSV戦略

～住宅を通じて社会課題を解決し、CSV（共有価値の創造）を実現～

住宅はさまざまな社会課題を解決する中心的存在である、と当社は考えています。
積水ハウスグループは、住まいづくりを通じて「サステナブル・ビジョン」に基づき、
多様なステークホルダーに対して、価値を創造・共有することにより、社会課題の解決に取り組んできました。
このたび重点的に取り組む五つのテーマを特定し、「CSV戦略」として位置付け、活動のさらなるレベルアップを図っています。
これら一連のプロセスを以下に図示します。



社会課題

- 地球温暖化
- エネルギー不安
- 異常気象
- 自然災害へのぜい弱性
- 震災復興の遅れ
- 生態系の破壊
- 子育て不安
- 教育問題
- 少子化
- 社会資本整備の遅れ
- 大量消費・廃棄型社会
- 社会的弱者への配慮不足
- ワーク・ライフ・バランスのゆがみ
- 超高齢社会
- 家族多様化への対応遅れ
- まちなみ景観の劣化
- 希薄化したコミュニティ
- 空気環境の悪化
- 健康不安

五つのCSV戦略

1 住宅のネット・ゼロ・エネルギー化

P.17

省エネと創エネで住宅のエネルギー収支をゼロにする住宅の普及推進

2 生物多様性の保全

P.21

「5本の樹」計画、「木材調達ガイドライン」などを通じた生態系保全の取り組み

3 生産・施工品質の維持・向上

P.25

安定的に高品質な住まいを提供できる生産・施工体制の強化

4 住宅の長寿命化とアフターサポートの充実

P.29

住宅の耐久性向上、ユニバーサルデザイン推進、メンテナンス・リフォーム体制の充実など

5 ダイバーシティの推進

P.33

多様な人材が創造性・革新性を発揮し、事業を通じたイノベーションを実現する仕組みづくり

VOICE

CSRを通じた価値創造

CSRの現代的課題の一つは、いかに経営戦略と結びつけるかにあります。そのためにはマテリアリティ(重要性)に関する分析を通じて対象を絞り込み、具体的な事業活動との関連性を明確にする必要があります。また、バリューチェーン※全体の見直しと強化も重要な課題として注目されています。

積水ハウスのお二人の経営トップと面談させていただき、企業の社会的な活動を重視されていることを十分に感じました。また、そのような活動を社会にもっと目に見える形で示したいとの意欲も強く見受けられました。

積水ハウスは、自社のビジネスモデルをこの視点から見直して、「4つの価値」を示しています。これは、まさに積水ハウスのCSV(Creating Shared Value)と言えると思います。今後は個々に具体的な数値目標を設定されてKPIとして活用されれば、新しい形の価値創造が見える化されると思います。

神戸大学大学院経営学研究科長 **國部 克彦** 氏

※製品やサービスを顧客に提供するという企業活動を、調達／開発／製造／販売／サービスといったそれぞれの業務が、一連の流れの中で順次、価値とコストを付加・蓄積していくものととらえ、この連鎖的活動によって顧客に向けた最終的な「価値」が生み出されるとする考え方。